施策評価(令和元年度)

1 基本項目

基本目標 3	基本目標 3 ふれあいと活力のあふれるまち			
基本施策 1	ともにつくる住みよい地域社会の実現			
施 策 12	市民活動			

基本方針

町内会・自治会、ボランティア・サークルなどの市民活動団体、NPO法人などの自立した活動や相互の連携を支援し、ふれあいや助けあいが日常的に行われる活気ある地域社会をつくります。

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性(必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
町内会・自治会活動への支援	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
市民活動センターの充実	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
地域集会施設・学習等供用施設の更新等の検討	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
<u>若い世代のまちづくりへの参加の機会の検討・提供</u>	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続

3 施策評価結果

施策12「市民活動」では、4事業について評価を実施した。

進捗状況については、全て「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。

- 各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、全てA(適切なもの)と評価し ている。

本施策の基本方針は、「市民活動団体、NPO法人などの自立した活動や相互の連携を支援し、ふれあいや助けあいが日常的に行われる活気ある地域社会をつくる」ことであり、「町内会・自治会活動への支援」では、各町内会・自治会及び町内会連合会に対する助成金による財政支援を行い、各会とも年間事業をほぼ予定どおり完了したほか、加入促進活動の支援については、はむら夏まつり、産業祭などのイベントへの共同参加、駅前加入促進キャンペーン、活動写真展、加入促進イベントなどを通じて、町内会・自治会の会員数の減少の抑制に寄与した。

また、「若い世代のまちづくりへの参加の機会の検討・提供」として、「はむら若者"輝"会議」の開催、都立羽村高校との連携事業「はむらまちづくりワークショップ」の開催など若者の意見を聴く場をつくることで、若者の市政参加へ寄与するなど、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画					
	十成30十及(玩儿)	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	町内会・自治会、町内会連合会への助成、加入促進活動の支援	同左	同左	同左			
	・はむら夏まつり、産業祭で の加入促進活動の支援 ・加入促進パンフレットの印	同左	同左	同左			
	・駅前、市役所ロビーでの加		・加入促進パンフレットの印刷				
事業内容	入促進キャンペーンの実施 ・町内会連合会、PTA連合 会共催の加入促進事業へ	同左	同左	同左			
事業量等	の支援	同左	同左	同左			
	町内会連合会と退会防止・ 加入促進策の実施支援						
		同左	同左	同左			

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

	O HENCESCHE CONTROL OF THE CONTROL O									
ſ	職層∙職種別	平成3	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	· 中以 / 音 - 中以 / 生 / 小」	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	
ſ	係長職	1人	960 H	1人	960 H	1人	960 H	1人	960 H	
	主事・主任職	1人	240 H	1人	240 H	1人	240 H	1人	240 H	

(4) 争未負	(2)	事業	費
---------	-----	----	---

	于 木貝				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	事業費	20,289	20,117	20,289	20,120
	人件費(係長職)	4,614	4,614	4,614	4,614
	人件費(主任・主事職)	758	758	758	758
総	事業費(合計)	25,661	25,489	25,661	25,492
	国庫支出金				
	都支出金				
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	25,661	25,489	25,661	25,492
財	源内訳(合計)	25,661	25,489	25,661	25,492

ব	77	L≣-	上笛
(J)	-	. 1 ' 🗆	I≠

ア市民	55,565	人における	1人あたりの=	コストは、	459	円	
イ 対象者	-	人における	人あたりの=	コストは、		円	_
ウ 成果(物	勿)	の 出来高		における1	のコストは		円

令和元年	手度 【事	務事業評価	五(事後)】					進行管理No	53
Do【実行)								
5.実施新	吉果								
一計画と	おり完了	計画を見	.直し完了(次年	度以隆計	画を見ī	直す)	遅延	中断	
				1X MITHI	— е Л.	- / /			
	耳•改善	· 		+6	示事項·	76 羊 6	5 55		
無	有			扫	小争垻'	以晋区	り谷		
	ركا								
<u> </u>	<u> </u>								
②活動 到		^ = ^ 	- ^ =				A		-b A 0 4 m-
〇一町内	会/目治3	会、町内会連	合会への助成	こについて	は、全	39町	会に対し『コ	ミュニティ助	灰金』を、町
			合会助成金』を						
			ついては、はむ						
入促進さ	キャンペー	ン、活動写真	真展、加入促進	イベント「	第4回こ	近所	・こどもまつ	り」の実施す	支援、加入促
			1階ロビーへの						
		支援を行った		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		Д	~E 0-E C ~		2 1/12"
			。 加入促進策の	主施支援.	レーフ	「安丕	確認活動訓	紬(苦色い	タオル作戦)」
		_医云则正。	加入促進來切	大心又1及	_0 (,	· 🗴 🗆	개보 마다 / 다 크기 마기	体(英口)	ノカ /レ F +X / 」
を行った	0								
③投入第	実績								
決算の内		立:千円)	予算額(当初)	│ 補正・游	用額	予省	類(最終)	決算額	執行率
事業			20,117			J J	20,117	20,0	11 1 1 1 1
	只		,				۷,۱۱/	20,0	23.0/0
年間	\$時間(人)	牛費の目安)	当初計画		実績		1		
		- 	人数 概算時	間 人数	概算	時間]		
係長職			1人 960	H 1 人	9	60 H]		
主事·主	任職		1人 240			40 H			
	量(活動量)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
<u> </u>		実施計画		1			今年	 度実績	
		C/ICHT CI							
○ tin 3.4!	足准汗動写	自体支援 71	回(はむら夏ま						はむら夏まつ
					り、は	むらる	、るさと祭り、	産業祭、加	『入促進パン
		人促進パンプ			フレッ	トの作	成•配布、力	口入促進コー	ーナーの設
		ナーの設置		⇒			真展、駅前加		
		キャンペー	ン秋・春、ご近				こどもまつり		, -
所・こどっ	もまつり)								促進策の実
〇町内会	会連合会と	:退会防止•:	加入促進策の						
実施支持	爰						否確認活動	訓練(東巴)	ハダイル作
					戦)」を	と美他			
				1					
Check(評価】								
6.事業の		S…より滴む	刃なもの A…i	新切か‡.σ)	R…調	胆語があり ・	今後 改善	が必要なもの
項目	У Н 1 1 	<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>	NAS 10 03 7 1	70,40	課長評価
	1	– .–						-	
	上位施策(基本目標•施策)を達成する為に必	要な事業で	ある				A
当 要 🗸	今の社会情	勢に見合う事業	きである 利用	者•対象者の)ニーズ(語	需要)が	ある		Δ
当性	その他 (
1± L	(
効	最少の人件	費・事業費で事	移が執行されてい	3		民間活	力を活用してい	る	
I = I	業務の進め	方や手続きを館	i略化・簡素化して	13					Λ
				0					$\boldsymbol{\wedge}$
性	その他()	
有~	計画の重業	量に達しなかった	た 一✓計画の事業	業量に達した	./	計画以	上の事業量を達	を成した	
[成	="					山山水	ーッサ本里に	_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	Λ
効果	事業の目標	が達成された	□□事業の効果	早が表れてい	ර				A
性	施策の基本	方針推進する	えで具体的な成果	いあった					
			本事業の評価						
					NI- Lフ	日十二十二	5七年 47	。+_ (土 田	7 <u> </u>
			会連合会に対す						
			たことから、「施						
			た、加入促進流						
			において活気を		で展開さ	れたこ	ことから、「旅	策の基本	方針」に掲げ
			が図られたと考						
					· <u></u>				
Action(改善】								
8.今後0		_							
	のまま継糸	赤 □レベコ	レアップ 🔲 縮	:/\	■宝施コ	上休の	見直し 🔲	休止•廢止	一中マ
		,, <u> </u>				_ r+·0/			
<u>【改善点</u>]								
【今後の	取組方針	1							
			目治会と連携し	ながら 重	業や犯	割の	見直しを准と	り 町内全・	自治会が持
	は環境を整			J., J. 7	212 V 12				
יושה ניי שעוי	ᄼᄷᄺᇉᄑ	- I/m / O/O							

O THIS PLANT THE SECOND THE SECON								
職層∙職種別	平成3	0年度(現況)	令和	口元年度	令	和2年度	令	和3年度
哦/盲 帮助作生力!	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	80 H	1人	80 H	1人	80 H	1人	80 H
主事•主任職	1人	100 H	1人	100 H	1人	100 H	1人	100 H

②事業費

	于 不 只				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	事業費	3,309	3,278	3,278	3,278
	人件費(係長職)	385	385	385	385
	人件費(主任·主事職)	316	316	316	316
総	事業費(合計)	4,010	3,979	3,979	3,979
	国庫支出金				
	都支出金				
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	4,010	3,979	3,979	3,979
財	源内訳(合計)	4,010	3,979	3,979	3,979

③コス	ト計算
\odot	·

ア市民	55,565	人における	1人あたりのコ	ストは、「	72	円	
イ 対象	者	人における [·]	1人あたりのコ	ストは、		円	_
ウ 成果	(物)	の 出来高		における1	のコストは		円

- Feb./- 1	西(事後)】		進行管理No	54
Do【実行】				
5.実施結果				
□計画どおり完了 □計画を見	し直し完了(次年度以降計画を見	直す) 🔲 遅延	中断	
رص سے				
①指示事項・改善	七二東西	・改善内容		
無 有	11 小争块	- 以普內谷		
②活動実績				
OTHER	であり、市民活動団体の把握と	活動情報等の登	信川 て 市民	壬動団体
ガイド・団体サークルガイドの				
	えがでいった。 :6回発行し、市民活動講座とし ⁷	て「コッシュリニニカー	_ 兼武	六泽東坎
	にならないために~」を実施した		一食风舑座」、「	文理争以
		- 0		
・ファシリテーター養成講座		(D000) ++=+	ee I	
	害者・被害者にならないために~	ィ(R2.2.9): 参加省	55人	
また、市民活動拠点の設置に	ついて、検討を行った。			
③投入実績				
 決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初) 補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	3,278 -	3.278		97.0%
	,	<u> </u>	0,101	37.070
 年間業務時間(人件費の目安)	当初計画 実績			
		時間		
係長職	1人 80 H 1人	80 H		
主事・主任職	1 入 100 H 1 入 1	00 H		
④事業量(活動量)				
実施計画		今年	度実績	
〇市民活動相談 76件	〇市	民活動相談件数	69件	
○市民活動団体の把握と活動	動情報等の発 O市	民活動団体ガイド	団体サークル	ガイドの
信	⇒ 更新			
〇市民活動情報紙「きずな」の		民活動情報紙「き	ずな」の発行(S 🗖
○市民活動講座の実施2回		民活動講座の実施		, L
	(()市	早活動拠占の設置	骨格計	
○市民活動拠点の設置検討	<u></u> ()市	民活動拠点の設置	置検討	
	<u> </u>	民活動拠点の設置	置検討	
Check【評価】				※悪たもの
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適	<u>○市</u> 切なもの A…適切なもの	<mark>民活動拠点の設置</mark> B…課題があり、	今後、改善が』	
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適 項目	切なもの A…適切なもの		今後、改善が』	必要なもの
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適 項目			今後、改善が』	
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥必	切なもの A…適切なもの	B…課題があり、	今後、改善が』	
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適項目 妥必 」上位施策(基本目標・施策) 以票	切なもの A…適切なもの	B…課題があり、	今後、改善が』	
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥必当要性性 」その他(切なもの A…適切なもの (i)を達成する為に必要な事業である 業である □ 利用者・対象者のニーズ(B… 課題があり、 需要)がある	今後、改善が調	
Check (部価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 □ 上位施策(基本目標・施策 当 要 性 □ その他 (効 □ 最少の人件費・事業費で 3	切なもの A…適切なもの ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	B…課題があり、	今後、改善が調	
Check (部価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 □ 上位施策(基本目標・施策 当 要 性 □ その他 (効 □ 最少の人件費・事業費で 3	切なもの A…適切なもの i)を達成する為に必要な事業である 業である □ 利用者・対象者のニーズ(B… 課題があり、 需要)がある	今後、改善が調	
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 当性	切なもの A…適切なもの i)を達成する為に必要な事業である 業である □ 利用者・対象者のニーズ(B… 課題があり、 需要)がある	今後、改善が調	
Check (部価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 □ 上位施策(基本目標・施策 当 要 性 □ その他 (効 □ 最少の人件費・事業費で 3	切なもの A…適切なもの i)を達成する為に必要な事業である 業である □ 利用者・対象者のニーズ(B… 課題があり、 需要)がある	今後、改善が調	
Check (部価) 6.事業の評価 S…より適け 項目 妥 必	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 『略化・簡素化している	B… 課題があり、 需要)がある	今後、改善が 組 課)	
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適け 項目 妥 必 □ 上位施策(基本目標・施策 当 性 □ その他 (効 手 法 □ 大の他 (対 手 法 □ その他 (す で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 。 「商略化・簡素化している た ☑計画の事業量に達した	B…課題があり、	今後、改善が 組 課)	
Check (部価) 6.事業の評価 S・・・より適け	切なもの A…適切なもの (i)を達成する為に必要な事業である 業である	B…課題があり、	今後、改善が 組 課)	
Check (部価) 6.事業の評価 S・・・より適 項目 妥 必要性	切なもの A…適切なもの (i)を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 前略化・簡素化している た ▽計画の事業量に達した □事業の効果が表れている (i) ここで具体的な成果があった	B…課題があり、	今後、改善が 組 課)	
Check (部価) 6.事業の評価 S・・・より適け	切なもの A…適切なもの (i)を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 前略化・簡素化している た ▽計画の事業量に達した □事業の効果が表れている (i) ここで具体的な成果があった	B…課題があり、	今後、改善が 組 課)	
Check (部価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥 当性	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 病略化・簡素化している た □計画の事業量に達した □事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった 3本事業の評価 なび実施計画に基づき、市民活	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対	今後、改善が 類 課 つる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A A A
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 当性 ○ 今の社会情勢に見合う事等 性 ○ その他 (効 手法 ○ 景務の進め方や手続きを簡性 ○ その他 (有 成 果) 性 ○ 「計画の事業量に達しなかった。 ○ 事業の目標が達成された。 ○ 下飯策の基本方針」に対する。 ○ 羽村市市民活動基本計画及	切なもの A…適切なもの (i)を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 前略化・簡素化している た □計画の事業量に達した □事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった 3本事業の評価	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対	今後、改善が 類 課 つる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A A A
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 当性 ○ 今の社会情勢に見合う事等 性 ○ その他 (効 手法 ○ 景務の進め方や手続きを簡性 ○ その他 (有 成 果) 性 ○ 「計画の事業量に達しなかった。 ○ 事業の目標が達成された。 ○ 下飯策の基本方針」に対する。 ○ 羽村市市民活動基本計画及	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 病略化・簡素化している た □計画の事業量に達した □事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった 3本事業の評価 なび実施計画に基づき、市民活	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対	今後、改善が 類 課 つる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A A A
Check (部価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 当性 一子の他 (対 率法) 一学の社会情勢に見合う事業性 一子の他 (対 率法) 一学の他 (対 事業の進め方や手続きを制 一子の他 (対 事業の目標が達成された 一 施策の基本方針」に対する 羽村市市民活動基本計画及いや助けあいが日常的に行れ	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 病略化・簡素化している た □計画の事業量に達した □事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった 3本事業の評価 なび実施計画に基づき、市民活	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対	今後、改善が 類 課 つる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A A A
Check (部価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 当性 一 その他 (対 率法) 一 表の他 (対 事業の直標が達成された 一 本の他 (対 事業の目標が達成された 一 施策の基本方針」に対する	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 病略化・簡素化している た □計画の事業量に達した □事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった 3本事業の評価 なび実施計画に基づき、市民活	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対	今後、改善が 類 課 つる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A A A
Check (部価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 当性 一子の他 (対 率法) 一学の社会情勢に見合う事業性 一子の他 (対 率法) 一学の他 (対 事業の追求が達成された 一部策の基本方針に対する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている ・ ○計画の事業量に達した □事業の効果が表れている ・ ○元で具体的な成果があった ・ ○大本事業の評価 とび実施計画に基づき、市民活動している活気ある地域社会づくりを	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対 動団体等の活動や	今後、改善が過	長評価 A A A 、 、 、 、 、
Check (部価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 当性 一子の他 (対 率法) 一学の社会情勢に見合う事業性 一子の他 (対 率法) 一学の他 (対 事業の追求が達成された 一部策の基本方針に対する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている ・ ○計画の事業量に達した □事業の効果が表れている ・ ○元で具体的な成果があった ・ ○大本事業の評価 とび実施計画に基づき、市民活動している活気ある地域社会づくりを	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対 動団体等の活動や	今後、改善が過	長評価 A A A 、 、 、 、 、
Check (部価) 6.事業の評価 S…より適け 項目 妥 必要性	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている 病略化・簡素化している た □計画の事業量に達した □事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった 3本事業の評価 なび実施計画に基づき、市民活	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対 動団体等の活動や	今後、改善が過	長評価 A A A 、 、 、 、 、
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適 項目 妥 必 当性	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている ・ ○計画の事業量に達した □事業の効果が表れている ・ ○元で具体的な成果があった ・ ○大本事業の評価 とび実施計画に基づき、市民活動している活気ある地域社会づくりを	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対 動団体等の活動や	今後、改善が過	長評価 A A A 、 、 、 、 、
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適は 項目 妥当性	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている ・ ○計画の事業量に達した □事業の効果が表れている ・ ○元で具体的な成果があった ・ ○大本事業の評価 とび実施計画に基づき、市民活動している活気ある地域社会づくりを	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対 動団体等の活動や	今後、改善が過	長評価 A A A 、 、 、 、 、
Check (部価) 6.事業の評価 S…より適何 項目	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている ・ ○計画の事業量に達した □事業の効果が表れている ・ ○元で具体的な成果があった ・ ○大本事業の評価 とび実施計画に基づき、市民活動している活気ある地域社会づくりを	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対 動団体等の活動や	今後、改善が過	長評価 A A A 、 、 、 、 、
Check【評価】 6.事業の評価 S…より適は 項目 以必要性	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている がいいででででででいる た ②計画の事業量に達した □事業の効果が表れている ②えで具体的な成果があった ③本事業の評価 ②び実施計画に基づき、市民活動のれる活気ある地域社会づくりを レアップ □縮小 □実施	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対 動団体等の活動や 行った。	今後、改善が過程を支援したのでは、対象のでは、	長評価 A A A A R 完了
Check【評価】 6.事業の評価 S…より適は 項目 以必要性	切なもの A…適切なもの ②を達成する為に必要な事業である 業である □利用者・対象者のニーズ(事務が執行されている ・ ○計画の事業量に達した □事業の効果が表れている ・ ○元で具体的な成果があった ・ ○大本事業の評価 とび実施計画に基づき、市民活動している活気ある地域社会づくりを	B…課題があり、 需要)がある 民間活力を活用してい 計画以上の事業量を対 動団体等の活動や 行った。	今後、改善が過程を支援したのでは、対象のでは、	長評価 A A A A ネれあ

令和元年度 【基本シート】				進行管理No	55
1.基本項目	作成部署		上活 部		也域振興課
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 地域集会施設・学習等供用施設の更新等 の検討	平成 28 年	その他自	1治事務(市独自)	直営	
01	年				
02	年				
03	年				
04	年				
05	年				
関連課 建築課		·			
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	12 市民	尼活動	管理No.	3

2.事業の概要

施策の「町内会・自治会、ボランティア・サークルなどの市民活動団体、NPO法人などの自立した活動や相互 基本方針の連携を支援し、ふれあいや助けあいが日常的に行われる活気ある地域社会をつくります。

事 建築年次の古い地域集会施設・学習等供用施設の耐震診断を行い、町内会・自治会や市民活動 業 団体などが活動しやすい施設として、長寿命化・集約化・複合化・多機能化等について検討しま 容 す。 根拠法令 建築物の耐震改修の促進に関する法律

条例

要綱等 羽村市耐震改修促進計画

3.実施計画				
Plan【計画】	平成30年度(現況)		3か年計画	
	十八30十尺(坑儿)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	五ノ神会館の長寿命化・集 約化・複合化・多機能化等 について検討	同左	五ノ神会館の空調改修工 事(設計)の実施	五ノ神会館の空調改修工 事、屋上防水・外壁改修 工事の実施
	加美会館の長寿命化・集約 化・複合化・多機能化等に ついて検討	同左	同左	同左
		中央館の耐震診断の実施	中央館の耐震診断結果に 基づく長寿命化・集約化・ 複合化・多機能化等につい て検討	同左
事業内容 事業量等			栄会館、三矢会館、神明台 会館、富士見平会館、小作 本町会館の耐震診断の実 施	台会館、富士見平会館、
				緑ヶ丘会館、美原会館の 耐震診断の実施
				神明台会館の屋上防水改 修工事の実施
				緑ヶ丘三町会館、上水会 館の空調・防水等改修工 事の実施
				中央館、天王台会館の屋 上防水・外壁改修工事の 実施

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の日安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

<u> </u>								
職層∙職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240 H	1人	240 H	1人	240 H	1人	240 H
主事・主任職	1人	720 H	1人	720 H	1人	720 H	1人	720 H

②事業費				
事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費		3,218	18,651	156,838
人件費(係長職)	1,154	1,154	1,154	1,154
人件費(主任・主事職)	2,272	2,272	2,272	2,272
総事業費(合計)	3,426	6,644	22,077	160,264
国庫支出金		458	3,092	1,661
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金		2,710		
起債				
一般財源(人件費含む)	3,426	3,476	18,985	158,603
財源内訳(合計)	3,426	6,644	22,077	160,264
③コスト計算				

ションに可き	f -			_		-	
ア 市民	55,565	人における1	人あたりの=	1ストは、	120	円	
イ 対象者		人における1	人あたりの=	1ストは、		円	_
ウ 成果(物)		の 出来高[における1	のコストは		円
※ 対象者:		_	_		'		_

令和元年度 【事務事業評价	而(事後)】		進行管理No	55
Do【実行】				
_5.実施結果			r 	
計画どおり完了 計画を見	見直し完了(次年度以降計画を見す	直す) 遅延	中断	
①指示事項:改善			<u></u>	
無有	指示事項·	·改善内容		
	」については、予定どおり6月か	こ診断が実施さ	か その谷 12	日に「耐重」
	る 多断結果が出され、その結果を会			カに一門辰
	長約化・複合化・多機能化等につ			を長寿命
	[用する。]という結論に至ってお			
	改修を順次行うことを決定した。	7 1718- 1721		20707 1211
○「加美会館の長寿命化・集	約化・複合化・多機能化等につい	いて検討」につし	ても、当該会館	を利用する
町内会で構成される加美会館	運営委員会に意見を聞いたとこ	ろ、「現状のま	まの形態での使	用を希望
	いしたい」との意見を得ており、そ			
検討委員会等で、加美会館の)長寿命化等について検討してし	١ < ٥		
○+L 1 = /=				
③投入実績	조염苑(少加) 拔丁 法口赞	文管站/目46	计管标	劫仁志
決算の内訳(単位:千円) 事業費	予算額(当初) 補正・流用額	予算額(最終)		執行率
	3,218 -	3,2	1,430	44.4%
 年間業務時間(人件費の目安)	当初計画 実績	n+ 88		
	人数 概算時間 人数 概算			
係長職		40 H		
主事・主任職	1 人 720 H 1 人 7	<mark>20</mark> H		
④事業量(活動量) 実施計画			年度実績	
〇中央館の耐震診断の実施		央館の耐震診断		
〇関係課での五ノ神会館の長			会館の長寿命化	
化・複合化・多機能化等につい	ハて検討 1回 → 複合(L·多機能化等	こついて検討 1	回工、一
〇加美会館運営委員会との原			会との同会館の	
命化•集約化•複合化•多機能		約化•複合化•	多機能化等につ	いて検討
検討 1回	10			
Check【評価】		_ =====================================		·
6.事業の評価 S…より適	切なもの A…適切なもの	B…課題があり	、今後、改善が	
項目			講	長評価
妥 _必 <mark>□上位施策(基本目標・施策</mark>	E)を達成する為に必要な事業である			A
当 要 ✓ 今の社会情勢に見合う事業	業である □ 利用者・対象者のニーズ(富	需要)がある		\mathbf{A}
一 性 性				/ \
_	= 76 L"+L /= 2-10 -71 - 7		7	
対 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		民間活力を活用して	ະເາອ	A
率 法 業務の進め方や手続きを簡	⋾略化・簡素化している			\mathbf{A}
性 ◯ <mark> □ その他 (</mark>)	* `
有 計画の事業量に達しなかっ	た 計画の事業量に達した	計画以上の事業量	を達成した	
1 成 「東番の日標が表式された		可回以工の事末里	と建成した	Λ
効果 □ 事業の目標が達成された	□ 事業の効果が表れている			A
性 施策の基本方針推進する	うえで具体的な成果があった			
7.「施策の基本方針」に対する	5本事業の評価		<u> </u>	
「五ノ神会館と加美会館の長	長寿命化·集約化·複合化·多機能	能化等について	の検討」は、市民	尼活動団体
	施設・学習等供用施設の整備に			
	本の自立した活動の支援』と『活	気ある地域社会	きつくり』につなが	るものと考
える。				
Action【改善】				
8.今後の方向性				-
□ 現状のまま継続 □ レベル	レアップ 🔲縮小 🔲実施 🛚	E体の見直し	█ 休止・廃止	元 ∫
 【改善点】				
【今後の取組方針】	(=n =1) =		- 226 1	
	(設計)及び会館等の耐震診断			況を考慮
し、少ない賀用で最大の効果	を挙げられるよう、費用対効果を	た思誠した検討る	と耳形のしていく。	

 ア市民
 55,565
 人における1人あたりのコストは、
 21 円

 イ対象者
 人における1人あたりのコストは、
 円

 ウ成果(物)
 の 出来高
 における1
 のコストは
 円

 ※対象者:
 円

令和元年度 【事務事業評価	西(事後)】		進行管理No	56
Do 【実行】 5.実施結果				
	見直し完了(次年度以降計画を見	直す) 🔲 遅延	中断	
①指示事項・改善	化二方花			
無 有	指不 事 埧	•改善内容		
②活動実績				
	回、「市の取組み見学ツアー」を2 の連携事業では、高校2年生をタ		まちづくりワー	クショップ I
を開催した。				
合杯大字との連携事業では して実施した。	、、43事業を計画し、協議の上、	多くの事業を合称さ	大字の教員・字	生と連携
・はむら若者"輝"会議:6月2	20日参加者5人、9月26日参加者		n者3人	
	月17日参加者9人、12月21日参り らまちづくりワークショップ 」: 12月			
111111111111111111111111111111111111111	,0,5 = (,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
決算の内訳(単位:千円) 事業費	予算額(当初) 補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
	533 <mark> -</mark> 当初計画 実績	533	391	73.4%
年間業務時間(人件費の目安) 	人数 概算時間 人数 概算	時間		
係長職 主事·主任職	1 人 80 H 1 人 1 人 1 人 1 人 1 人	80 H 80 H		
④事業量(活動量)				
実施計画		今年	度実績	
│ │○はむら若者"輝"会議の実施		はむら若者"輝"会記 の取組み見学ツス		
〇都立羽村高等学校との連携		立羽村高等学校と		実施
〇杏林大学との連携事業の写	実施 •「	゙はむらまちづくりワ	フークショップ」	
	〇台	林大学との連携事	・未の夫他 43・	争未
Check【評価】				
	切なもの A…適切なもの	B…課題があり、		
項目	こうだける為に必要な事業である。 である。		 読	長評価
	業である 利用者・対象者のニーズ(需要)がある		Δ
T 性	_)	\frown
効 ○ 最少の人件費・事業費で	事務が執行されている ✓	民間活力を活用してい	る	A
率法□業務の進め方や手続きを記	9略化・簡素化している			ΑΙ
性 ^C Pom ()	
有 ○ 計画の事業量に達しなかっ		計画以上の事業量を過	達成した	A
効果 シー・サードの日信が達成された	□ 事業の効果が表れている 3.3.7.目 はかなば思がまった			$A \mid$
性	うえで具体的な成果があった 5本事業の評価			
	への参画を促し、機会の提供、	人材育成を行うこと	こができた。	
Action(改善) 8.今後の方向性				
□ 現状のまま継続 □ レベル	レアップ 🔲縮小 🔲実施:	主体の見直し 🔲	休止·廃止	完了
 【改善点】				
【今後の取組方針】	フレン会団の松人ナロ川」	+++=	\ <u>/</u>	
予俊も右い世代か沽躍でき	るよう参画の機会を提供し、人材	M育成を文援してし	, '< ,	